

全長11m新絵巻 『手漉き和紙がでさるまで』 初公開

# 手漉き和紙絵巻 鳥獣戯画展

手漉き和紙が  
でさるまで

入場料：500円

企画・運営：わしのねりプロジェクト

事務局：企画屋かざあな (03-6434-5581)

協力：梅尾山 高山寺

学校法人 京都建築学園 京都建築専門学校

注) 国宝鳥獣戯画本巻の展示はございません。



開催日時

11/30<sup>土</sup>  
12/1<sup>日</sup> 2<sup>月</sup>

11:00~16:00 (最終日 15:00)

開催場所

京都建築専門学校  
葭屋町(よしやまち)校舎  
(二条城から北へ徒歩10分)

詳細はこちら

地図



## 国宝 鳥獣戯画が伝わる高山寺公認

### 全長 11m 超！手漉き和紙絵巻『鳥獣戯画～手漉き和紙ができるまで～』

日本の手漉き和紙技術がユネスコ無形文化遺産登録から 10 周年を迎えるのを記念し、手漉き和紙絵巻『鳥獣戯画～手漉き和紙ができるまで～』を制作いたしました。

手漉き和紙絵巻『鳥獣戯画～手漉き和紙ができるまで～』は、国宝『鳥獣人物戯画』が伝わる京都 梅尾(とがのお)山 高山寺より許諾をいただき、手漉き和紙の原料となる楮やトロロアオイの栽培から、紙漉きの工程、流通までのイメージをお馴染みの動物たちを模して描きました。

ユネスコ無形文化遺産に登録された細川紙(埼玉県小川町、東秩父村)、本美濃紙(岐阜県美濃市)、石州半紙(島根県浜田市)の三紙の手漉き和紙をつなぎ合わせた 11m を超える巻物となっています。

今回制作した手漉き和紙絵巻は、鳥獣戯画に割印として使われていた高山寺の印鑑のひとつを復元し、

巻物に押したのち、展示会終了後、鳥獣戯画が伝わる高山寺に奉納させていただきます。

#### 【手漉き和紙絵巻概要】

巻物名：手漉き和紙絵巻

『鳥獣戯画～手漉き和紙ができるまで～』

サイズ：約 11.5m

面数：12 面

(第一章：トロロアオイ・楮栽培：4 面、  
第二章：和紙漉き工程：6 面、  
第三章：手漉き和紙使用：2 面)

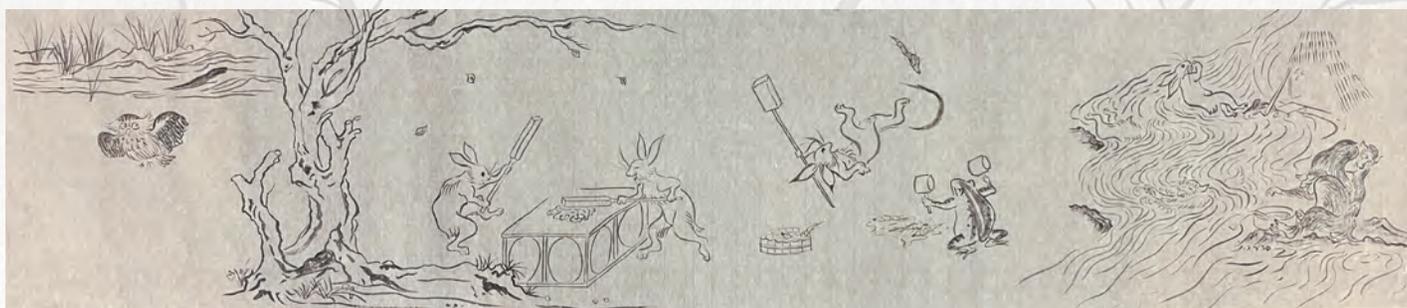
素材：ユネスコ無形文化遺産登録

石州半紙、本美濃紙、細川紙

技法：墨絵(白描画)

形状：巻物

制作年：2024 年



手漉き和紙絵巻『鳥獣戯画～手漉き和紙ができるまで～』の一面(原料製造の場面)

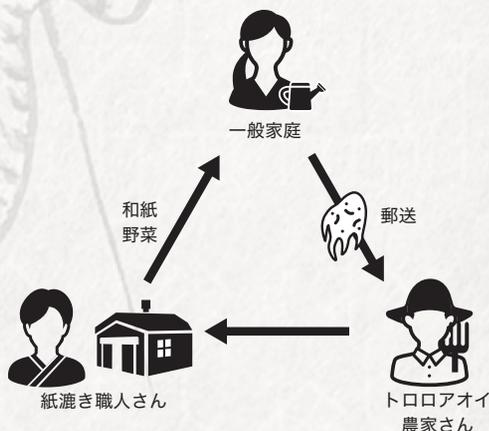


## 世界に評価される手漉き和紙の必需品「ねり」 生産農家が少ないなかで、みんなで育てて、和紙再興！

薄くて丈夫で保存性が高いことで世界からも求められている日本の和紙ですが、この薄くて丈夫な和紙を作るには、原料となる『ねり(トロロアオイ)』が必要不可欠です。『ねり』は「トロロアオイ」の根から採れる粘液です。

紙を漉く際に、ヌルヌルした『ねり』があることで、漉桁からすぐに水が抜けず繊維が均等に絡まった和紙を作ることができます。

このトロロアオイの生産農家が少ないなかで、『わしのねりプロジェクト』は一般家庭と原料生産農家、紙漉き職人が一体となって原料不足を克服し、手漉き和紙の存続の一步につながればと考えています。



トロロアオイの花



トロロアオイの根